

下古屋 自治区だより

第71号



平成23年4月1日

下古屋自治区総会が開催されました（3 / 13日）

出席者64名、委任状提出者221名のもと、6組の梅村昭治さんを議長に選出し、平成22年度総会が開会されました。22年度の事業報告、決算報告と23年度の事業計画と予算、自治区役員が承認されました。新役員の方々には23年度の活躍を期待したいと思います。

< 選出された新役員 >



副区長 磯村貴史さん(2組) 副区長 渡邊昌道さん
(6組) < 総会で提案する木村潔区長 >
区長 木村駿さん(11組)



「ご挨拶」

新区長 木村駿

この度の総会において区長の推薦を受け、ご承認を賜りました。当自治区に育ち、今日までお世話になり66年が過ぎました。ご使命を賜り少しでもお役に立てればと思い、もとより浅学非才の身ではありますが引き受けさせて頂きました。何卒よろしくお願い申し上げます。

平成23年度基本方針に「有縁社会」を目指すに掲げさせて頂きました。昨年、高齢者の所在不明や孤独死という事が社会問題となりました。個人情報保護の主張が強くなりまた少子高齢化、核家族の出現などが社会の様子も構造も変え、地域の環境が大きく変化してきております。

こうした背景から最近では無縁社会という事がよく言われています。自治区内ではこのようなことが起きないためにも「有縁社会」に向かっていく取り組みを推進したいと考えております。

自治区の事業活動推進には、各組の組長さん、各種団体長さんのお力添えを頂きたく、併せて区民の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トン汁食べまい会

3月26日 お鋤山



今年もわくわく事業補助金を活用して、イチヨウ、ユキヤナギなどの樹木の植え付けと、シタケの原木に菌の打ち込みを行いました。作業終了後は、温かいトン汁と甘酒、おにぎりなど、おなかいっぱい食べることができました。ご苦労様でした。 下古屋まちづくり委員会

